

# 学校で配慮と支援が必要な LGBTsの子どもたち

宝塚大学看護学部 教授  
厚生労働省エイズ動向委員会 委員  
日本思春期学会 理事

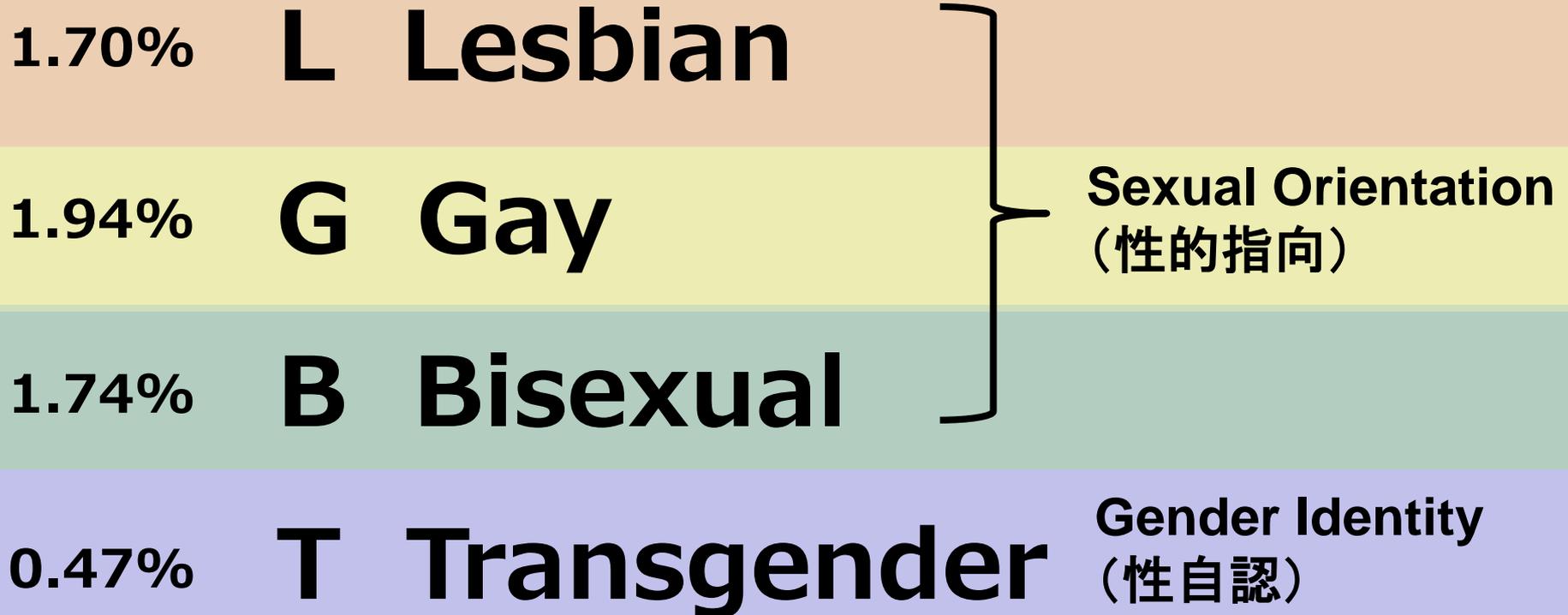
日高 庸晴



独立行政法人教職員支援機構

# LGBT/性的マイノリティとは？

レインボーフラッグはLGBTの社会運動の象徴



博報堂DYホールディングスLGBT総合研究所では、LGBTに関する意識調査を実施、全国の20～59歳の10万人（有効回答者数89,366人）を対象に実施したスクリーニング調査の結果、5.85%がLGBT

# 同性愛者、両性愛者の人口比率

- これまでに性的な魅力を感じる対象に  
「同性のみ」あるいは「同性と異性（女性）の両方」  
と回答した割合 **3.7%**
- これまでの性経験の相手が  
「同性のみ」あるいは「同性と異性（女性）の両方」  
と回答した割合 **2.0%**
- 「性的な魅力を感じる」「同性との性経験」**  
**のいずれか・両方を回答した割合 4.3%**

厚生労働省エイズ対策研究事業

男性同性間のHIV感染対策とその介入効果に関する研究（研究代表者：市川誠一）

2009年2月に実施〔東北・関東・東海・近畿・九州に在住の調査会社登録名簿〕

20～60歳未満の男性（有効回答数1,659人、有効回収率44.8%）

# 「性的指向と性自認」に関連する国の主な動き

- |                  |   |
|------------------|---|
| 2002年 法務省        | 人権教育・啓発に関する基本計画   |
| 2003年 法務省        | 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律                                 |
| <b>2008年 文科省</b> | <b>人権教育の指導方法等の在り方について</b>                               |
| 2009年 法務省        | 啓発活動年間強調事項  |
| <b>2010年 文科省</b> | <b>児童生徒が抱える問題に対しての教育相談の徹底について</b>                       |
| 2010年 内閣府        | 子ども・若者育成支援推進本部  |
| 2012年 内閣府        | 自殺総合対策大綱改正  |
| <b>2013年 文科省</b> | <b>学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査</b>                        |
| <b>2015年 文科省</b> | <b>性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について</b>                 |
| 2015年 内閣府        | 第4次男女共同参画基本計画   |
| <b>2016年 文科省</b> | <b>性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教員向け）</b> |
| 2017年 厚労省        | 改正男女雇用機会均等法   |
| <b>2017年 文科省</b> | <b>いじめ防止対策推進法「いじめの防止等のための基本的な方針」改正</b>                  |
| 2017年 厚労省        | 児童養護施設等におけるいわゆる「性的マイノリティ」の子どもに対するきめ細やかな対応の実施等について       |

# 性の要素を分解して考えてみる

- 1 身体の性別：生まれながらの生物的な性別
- 2 性自認：自分の性別をどう認識するか
- 3 社会的な性：後天的に身につけていく性
  - 性別役割：社会に期待される男・女としての役割
  - 性別表現：服装やどのようにふるまうか
- 4 性的指向：好きになる性、恋愛や性的関心の対象
- 5 法的な性別

# 「LGBTQ」とは？

<b>L</b>	レズビアン	女性を好きな女性
<b>G</b>	ゲイ	男性を好きな男性
<b>B</b>	バイセクシュアル	男女両方が恋愛対象になる人
<b>T</b>	トランスジェンダー	出生時と異なる性別で生きる人 ※性同一性障害・性別違和は診断名
<b>Q</b>	クエスチョニング	性自認・性的指向がはっきりしない、揺れ動いている、決まっていない

# 性同一性障害に係る児童生徒に対する学校の支援の事例 (2015.4.30 文部科学省通知)

項目	学校における支援の事例
服装	自認する性別の服装・衣服や、体操着の着用を認める。
髪型	標準より長い髪形を一定の範囲で認める（戸籍上男性）。
更衣室	保健室・多目的トイレ等の利用を認める。
トイレ	職員トイレ・多目的トイレの利用を認める。
呼称の工夫	校内文書（通知表を含む。）を児童生徒が希望する呼称で記す。 自認する性別として名簿上扱う。
授業	体育又は保健体育において別メニューを設定する。
水泳	上半身が隠れる水着の着用を認める（戸籍上男性）。 補習として別日に実施、又はレポート提出で代替する。
運動部の活動	自認する性別に係る活動への参加を認める。
修学旅行等	1人部屋の使用を認める。入浴時間をずらす。

# 2016年調査 国内最大規模 1万5千人規模の全国調査

全体の88%が20～40代、47都道府県からの回答 回収数16,670件、有効回収数15,141件（海外在住者77名含む）  
 本日の報告は国内在住者15,064件に限定

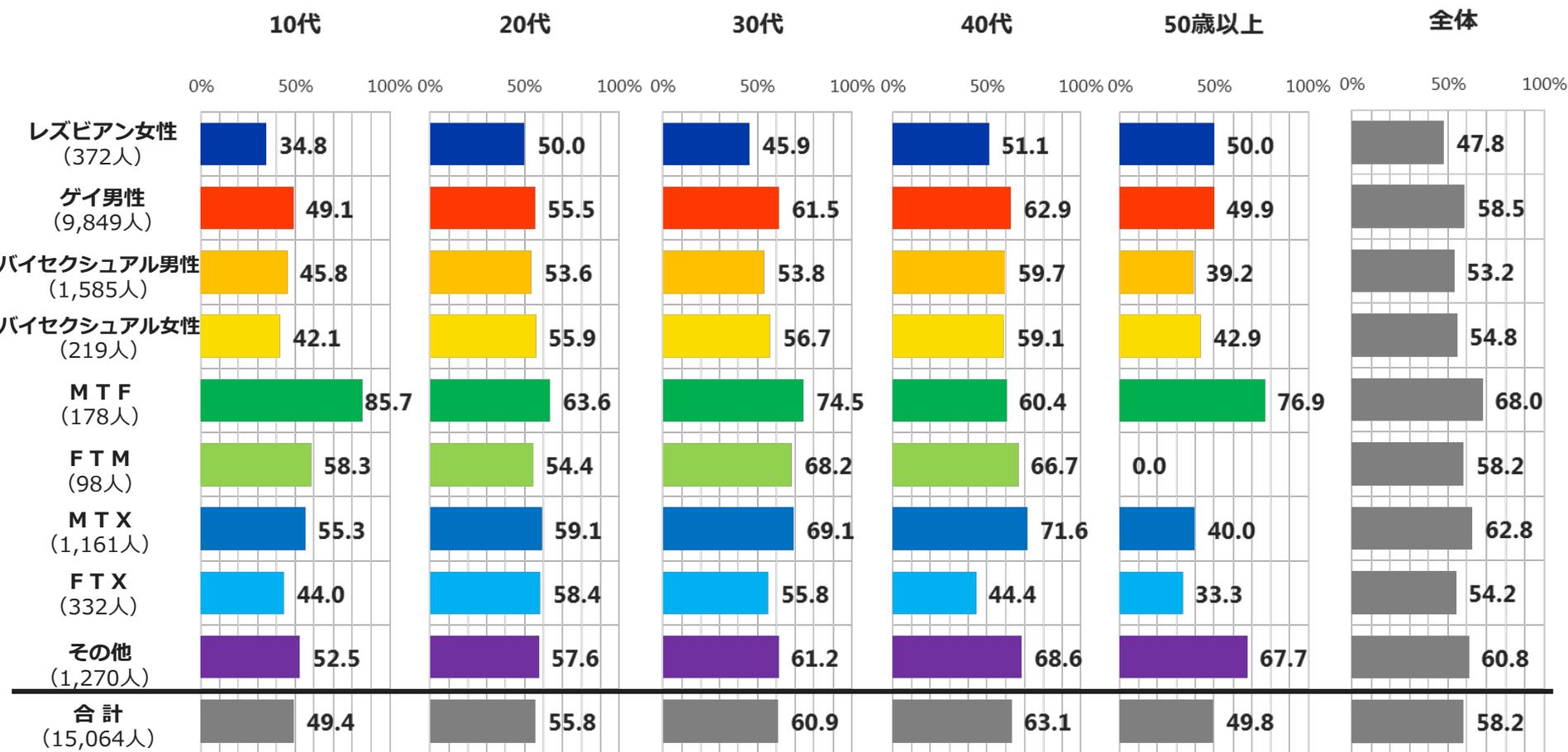
## いじめ被害・不登校・自傷行為・自殺念慮・自殺未遂 生涯経験率

経験率	レズビアン 372人 <sup>1)</sup>	ゲイ 9,849人 <sup>1)</sup>	バイセクシュアル (男性) 1,585人 <sup>1)</sup>	バイセクシュアル (女性) 219人 <sup>1)</sup>	トランスジェンダー (MTF) 178人 <sup>1)</sup>	トランスジェンダー (FTM) 98人 <sup>1)</sup>
いじめ被害	47.8% <sup>1)</sup> 10代では <b>34.8%</b>	58.5% <sup>1)</sup> 10代では <b>49.1%</b>	53.2% <sup>1)</sup> 10代では <b>45.8%</b>	54.8% <sup>1)</sup> 10代では <b>42.1%</b>	68.0% <sup>1)</sup> 10代では <b>85.7%</b>	58.2% <sup>1)</sup> 10代では <b>58.3%</b>
不登校	23.4% <sup>1)</sup> 10代では <b>30.4%</b>	19.6% <sup>1)</sup> 10代では <b>28.8%</b>	17.1% <sup>1)</sup> 10代では <b>24.6%</b>	26.9% <sup>1)</sup> 10代では <b>31.6%</b>	33.1% <sup>1)</sup> 10代では <b>57.1%</b>	34.7% <sup>1)</sup> 10代では <b>58.3%</b>
自傷行為	23.1% <sup>1)</sup> 10代では <b>47.8%</b>	8.6% <sup>1)</sup> 10代では <b>16.9%</b>	8.1% <sup>1)</sup> 10代では <b>15.3%</b>	24.2% <sup>1)</sup> 10代では <b>42.1%</b>	15.2% <sup>1)</sup> 10代では <b>42.9%</b>	33.7% <sup>1)</sup> 10代では <b>50.0%</b>
自殺念慮	—	<b>65.9%</b> <sup>2)</sup> 10代では64.7%	異性愛男性に比較してゲイ・バイセクシュアル男性の自殺未遂リスクは <b>5.98倍高い</b> (Hidaka et al, 2008)  性的指向を友達にカミングアウトしている人ほどリスクが高く、6人以上にカミングアウトしていると、自殺未遂リスクは <b>3.2倍高い</b> (Hidaka et al, 2006)			
自殺未遂	—	<b>14.0%</b> <sup>2)</sup> 10代では16.2%				

1) 2016年調査LGBT 当事者の意識調査 ～いじめ問題と職場環境等の課題～  
 2) 日高庸晴、木村博和、市川誠一（2007） 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究推進事業 ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2 有効回答数5,731人

## MTF、ゲイ、Xジェンダーに高率 男らしさ規範等が影響しているのでは

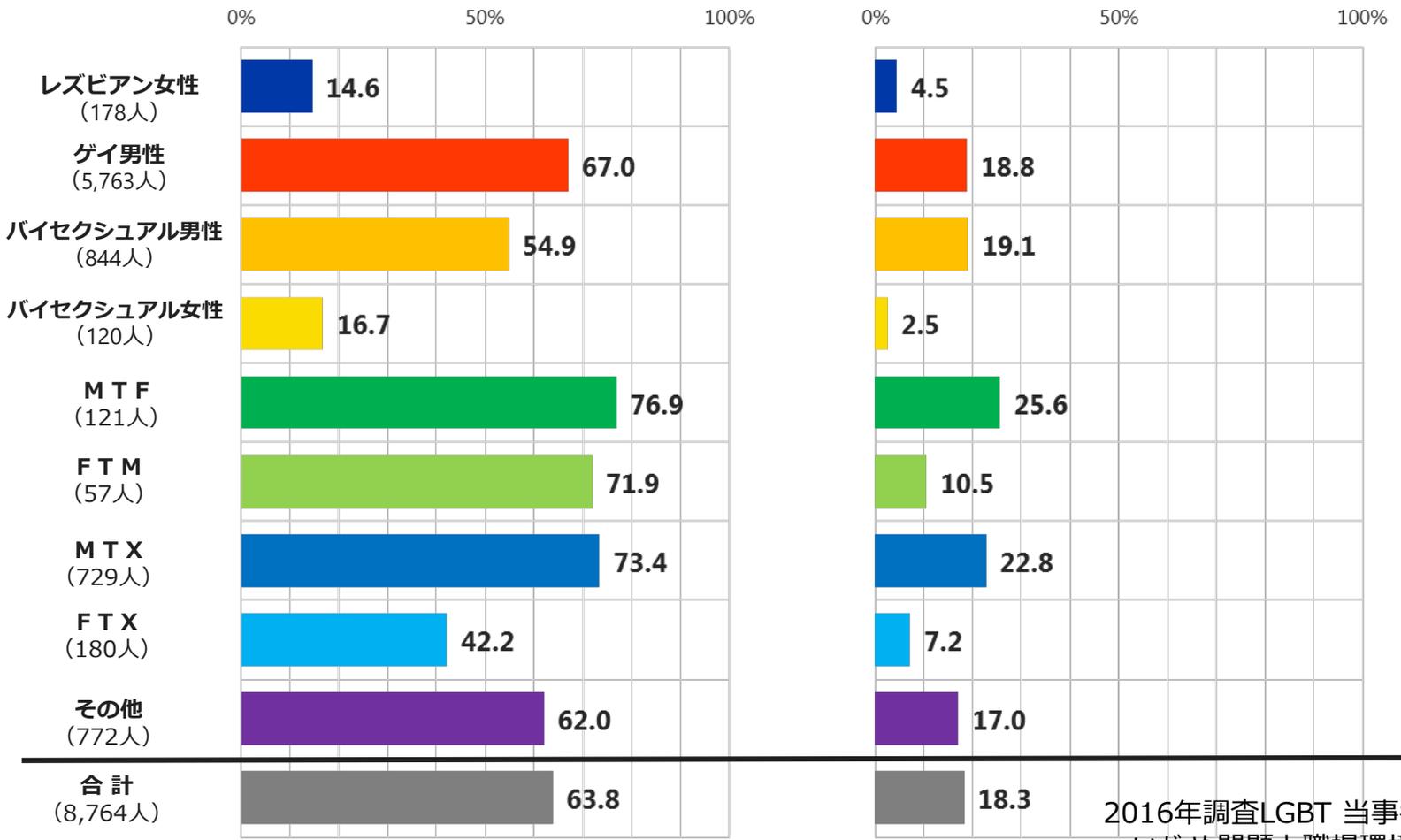
これまでの学校生活（小・中・高）で、いじめられたことがありますか？



## ゲイ男性、バイセクシュアル男性、MTF、FTM、MTXに被害が高率 セクシュアリティに関連する言葉によるいじめ（verbal abuse）や性的ないじめ被害が高率

「ホモ・おかま・おとこおんな」などの言葉によるいじめ

服を脱がされるなどのいじめ

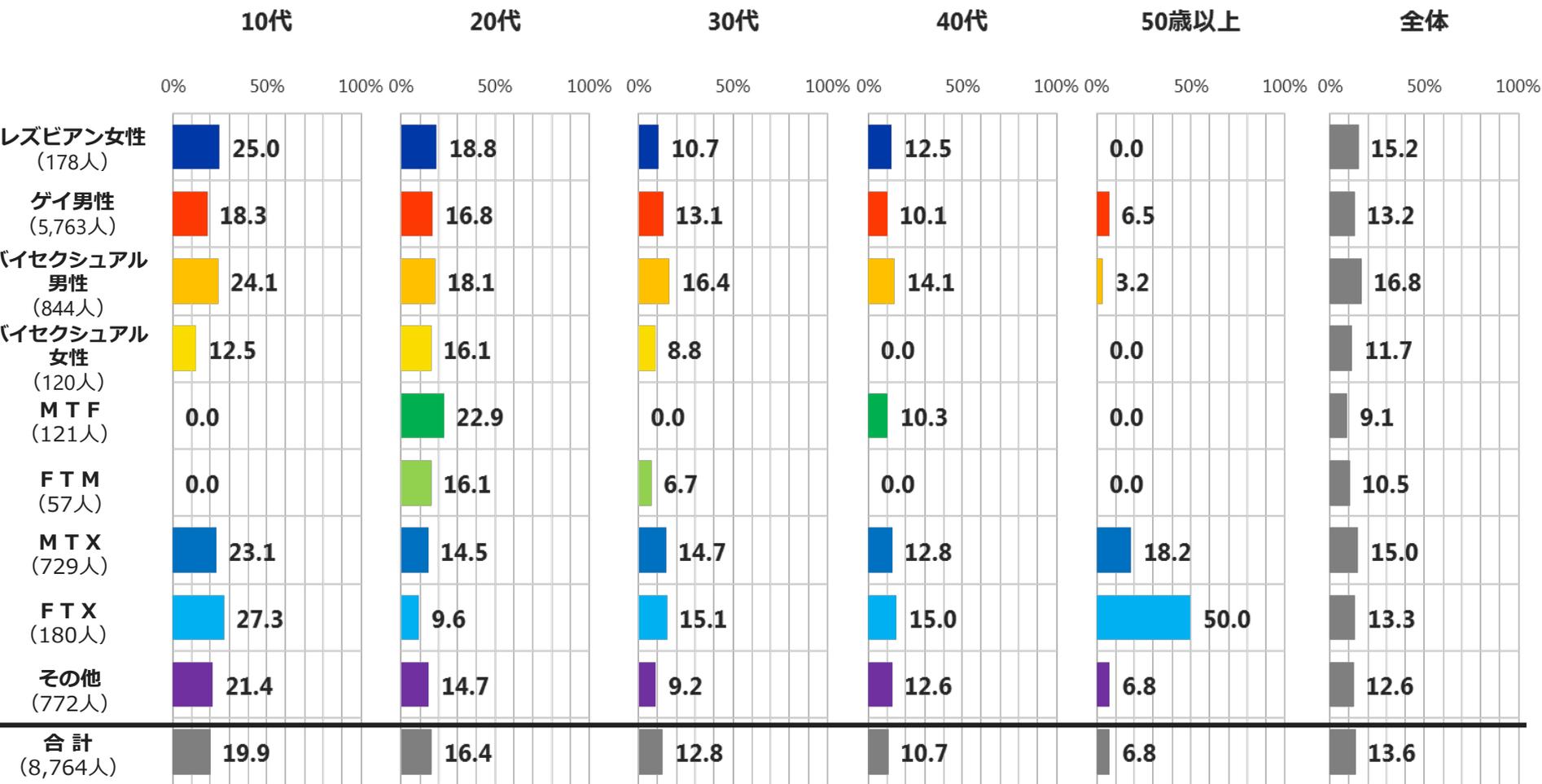


# 先生はいじめの解決に役に立ってくれたか

2016年調査

## 解決に役立ってくれた先生は全体で13%と低率 一方で、若年層ほど先生が助けになったと認識

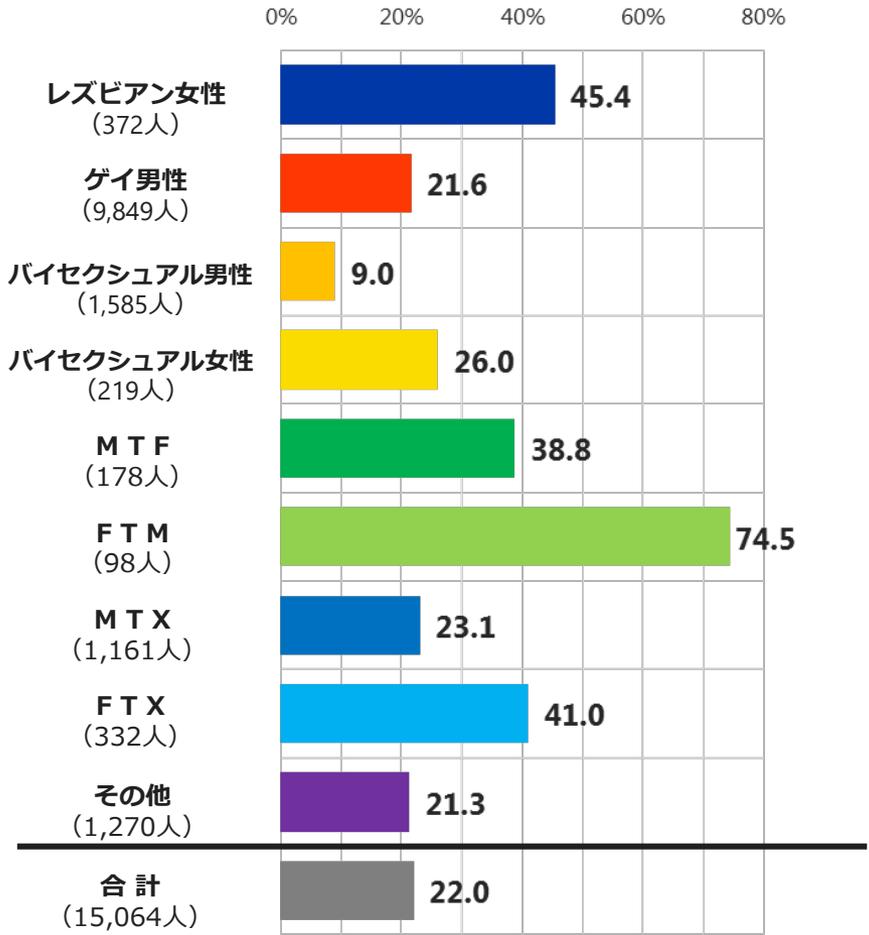
あなたがいじめにあってた時、先生はいじめの解決に役に立ってくれたと思いますか？



# 親へのカミングアウトの状況

## 5人に1人が親にカミングアウト、都市部が高率な傾向、地域差あり

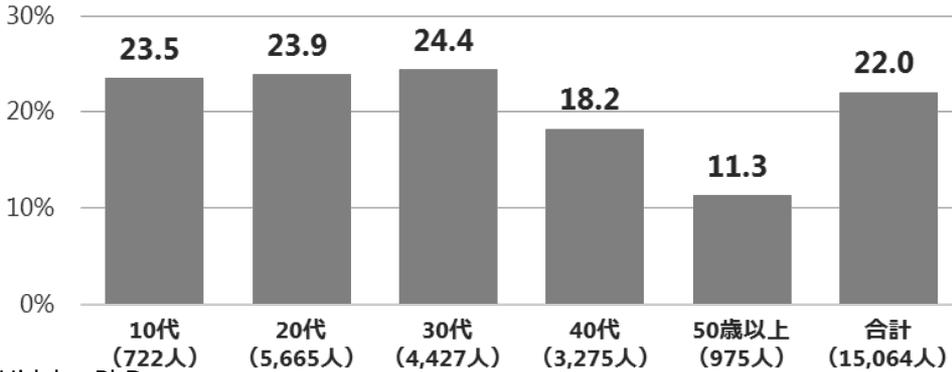
親へのカミングアウト状況



親へのカミングアウト状況（地域別）

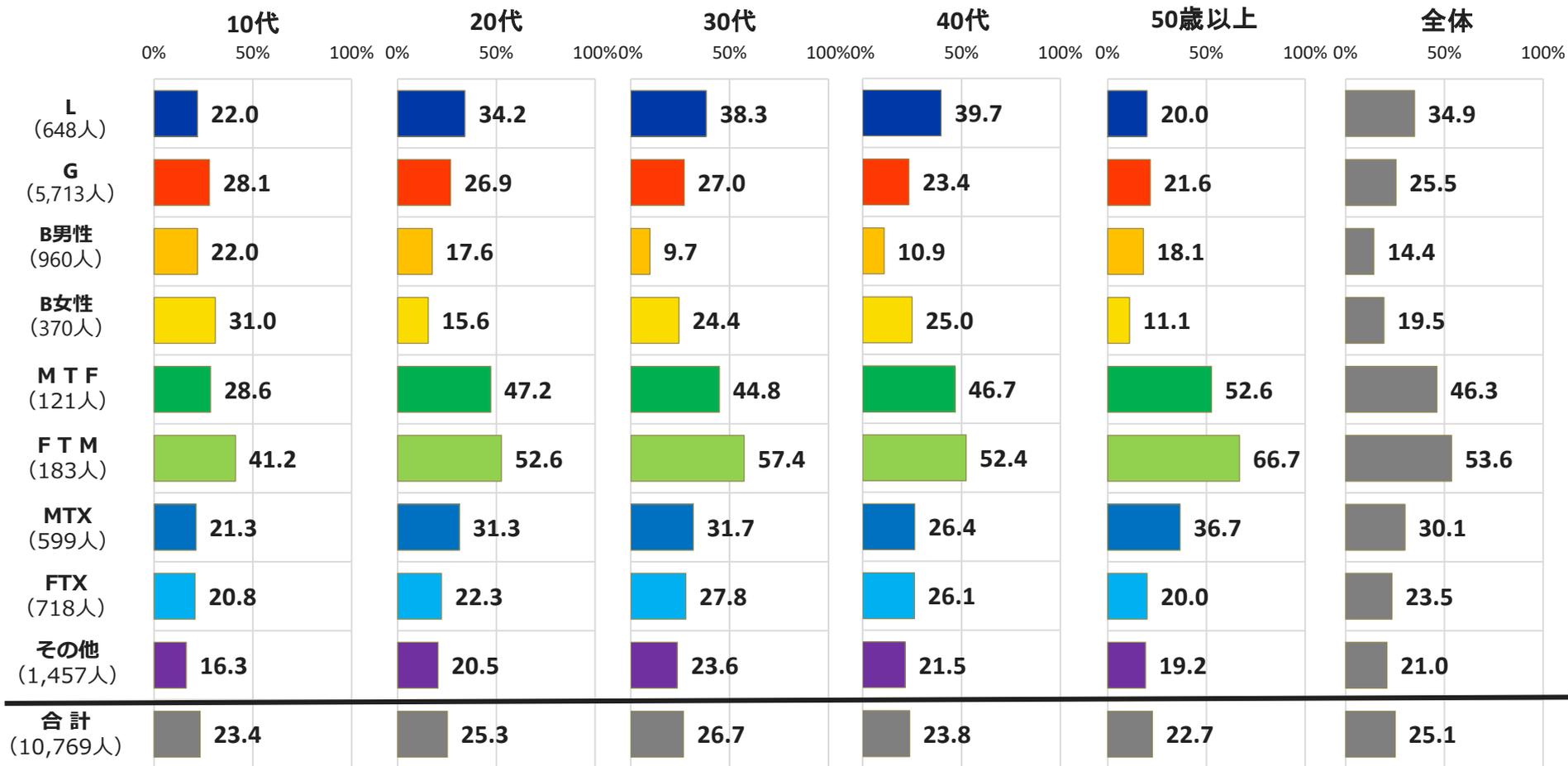
地域	人数	度数	%
北海道	644人	127	19.7
東北	726人	134	18.5
関東（含山梨）	3,333人	756	22.7
東京都	3,690人	913	24.7
北陸信越	461人	77	16.7
東海	600人	129	21.5
愛知県	860人	208	24.2
近畿	1,002人	214	21.4
大阪府	1,377人	322	23.4
中四国	806人	159	19.7
福岡県	637人	103	16.2
九州	631人	106	16.8
沖縄県	297人	61	20.5
合計	15,064人	3,309	22.0

親へのカミングアウト状況（年齢階級別）



トランスジェンダーが最も高率、いずれのセクシュアリティ・年齢層においても一定の経験が。

あなたがセクシュアルマイノリティであることを  
他人にアウトティング（暴露・バラされた）されたことがありますか？



安心して話すことができるためには

誰が性的マイノリティの当事者なのか、分からない

当事者の彼らにとっては、誰が本当の理解者かわからない

“性的指向や性別違和を言ってくれないから” “話してくれない”

“話してくれたいのに”

こういった言葉や気持ちで、児童・生徒を責めないこと

性的指向や性別違和を知らなければ支援できないと言うのではなく、  
多様性を尊重する環境を整備すること、それ自体が支援になっていく

① 教員研修の実施

② 先生が性的指向や性自認、LGBTについてポジティブな発言をする

③ 授業の実施、グループディスカッション、不規則発言は放置しない

キミの選んだ人生なら、精一杯応援するから！

↑ 言わない方がいい

思春期の当事者らは「選んだ」とは思っていないことが大半

# 「多様な性を考える授業」授業案と指導上の留意点をガイドブック（冊子）にまとめました。

入手ご希望の方は  
**レターパック（青色）**に  
 返信用住所を記入の上、  
 日高宛に郵送ください。  
 1冊お分けします。

530-0012  
 大阪市北区芝田1-13-16  
 宝塚大学看護学部  
 日高 庸晴

配布期間：令和3年3月31日まで  
 ※なくなり次第配布終了

宝塚大学看護学部 日高 庸晴 / 奈良県高等学校人権教育研究会

## 一度の授業で 子どもの人生が変わります。

1コマの展開	1コマの展開	1コマの展開
<b>導入</b> 前学習 1. レインボーフラッグで授業を始める。 「レインボーフラッグの由来や意味は知っていますか？」 「レインボーフラッグをみて、多様な性を感じますか？」 「今日は、多様な性について、一人ひとりが考えたり 共有の場を作ります。」	<b>展開</b> 4つの展開から自分の性も考える 1. 「自分の性について、その特徴から考え、 性の多様性に気づかせる。 「自分の性について、その特徴から考え、性の多様性に気づかせる。」 「自分の性について、その特徴から考え、性の多様性に気づかせる。」	1. 多様な性について、その特徴から考え、性の多様性に気づかせる。 「自分の性について、その特徴から考え、性の多様性に気づかせる。」 「自分の性について、その特徴から考え、性の多様性に気づかせる。」

多様な性を考える授業の展開を学習活動、指導上の留意点などの視点から分かりやすく提案します。

**Q4. 異性を好きになることが当然だ**

授業前	授業後
その気がない 25%	その気がない 54%
その気がある 75%	その気がある 44%

授業前後での変化  
 望ましくない回答をした人の  
**43.9%が**  
 望ましい回答へ

奈良県の高等学校13校の生徒を対象に（有効回答数2,146人）、多様な性に関する授業を実施した結果、授業前アンケートで性的少数者に対する否定的な回答をした生徒の4-5割の意識が、授業後には14の設問全てにおいて肯定的に変化しました。

HIV陽性者のゲイ男性の手記を読み、どうすれば当事者が傷つかないような社会にできるか、グループワークを通じて生徒自身で話し合うことが出来ます。